

(町並み版)

※ (町並み版) とは...

プロフィールを作成した27箇所の歴史的資産周辺の景観特性をよりきめ細やかに把握するため、周辺を景観特性ごとにエリア区分し、そのエリアごとに、町並みの特徴や景観形成の方針、建築計画等に求める配慮事項などをまとめたものです。

1 知恩院からの眺望景観

【周辺の特徴】

- ・ 知恩院は東山の山麓部の高台に位置し、東側に東山がせまっている。
- ・ 御影堂付近の境内から西側に向けては、樹間や三門越しに市街地が俯瞰景として見える。
- ・ 黒門付近からは、黒門前から青蓮院門跡へと続く神宮道沿いのマンションなどが一部垣間見える。



1-1 千姫のお墓から西への眺望
：市街が遠望できる。



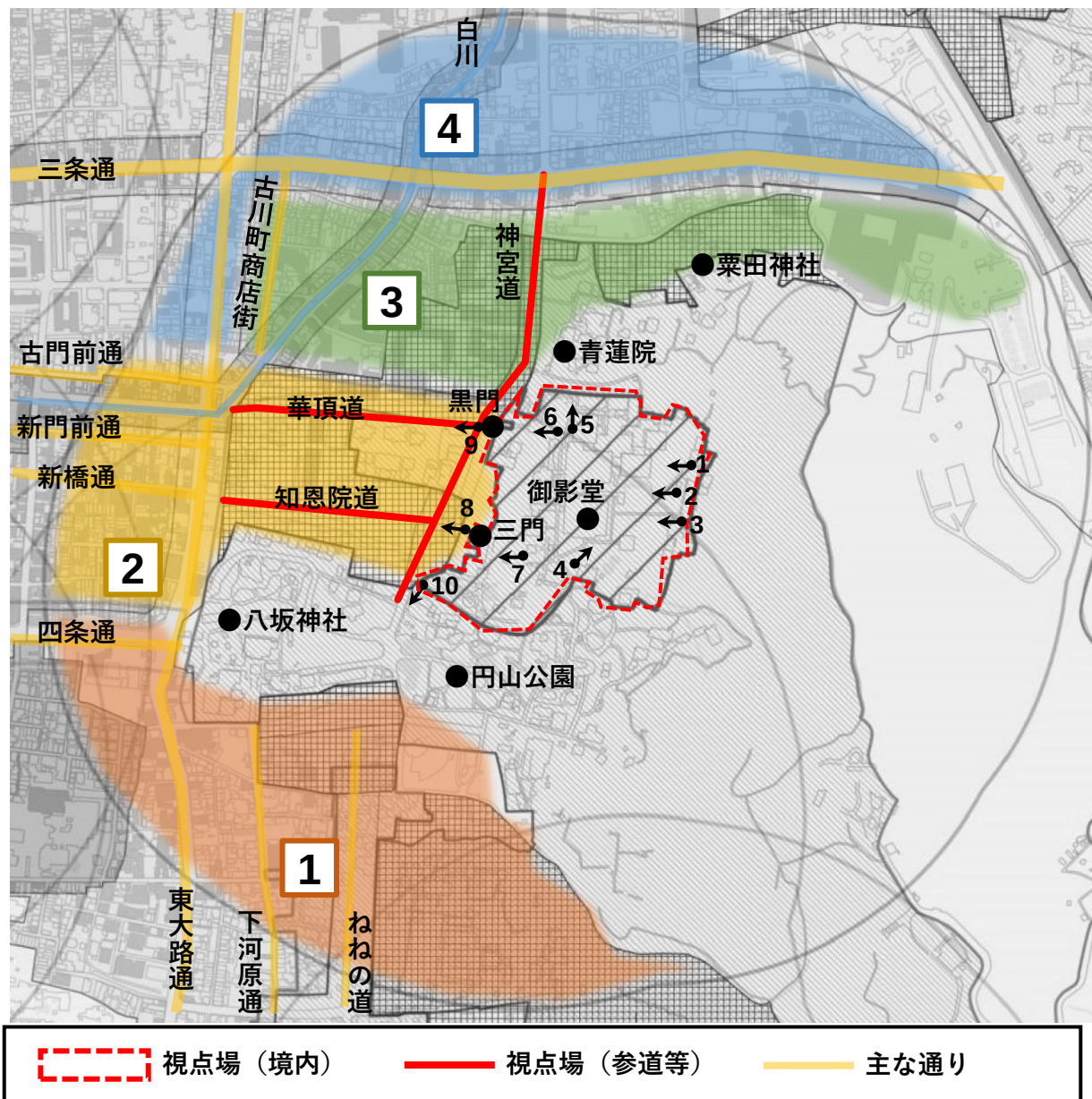
1-2 勢至堂から西への眺望
：市街が遠望できる。



1-3 御廟から西への眺望
：市街が遠望できる。



1-4 御影堂前から北東への眺望
：背後の東山を展望できる。



1-5 北門から北への眺望
：周辺の建築物は視認されない。



1-6 北門から西への眺望
：京都華頂大学等が垣間見える。



1-7 女坂から西への眺望
：市街が遠望できる。



1-8 三門から西への眺望
：知恩院道沿道の建築物や緑が見える。



1-9 黒門から西への眺望
：華頂道沿道の並木が見える



1-10 南門から円山公園への眺望
：南門の先は円山公園となる。

2 知恩院周辺の景観

【周辺の特徴】

- ・神宮道沿いは、青蓮院などの寺社、和風外観の建築物などが並び、和風の塀や石垣、生垣が続く趣のある景観となっている。
- ・古門前通から華頂道を通り黒門へと続く参道や、新橋通から知恩院道を通り三門へと続く参道からは、威厳高く存在する門や建築物、境内の緑を、東山を背景に臨むことができる。



2-1 知恩院道から西への眺望
：新門の先に祇園界隈の商業ビルが見える。



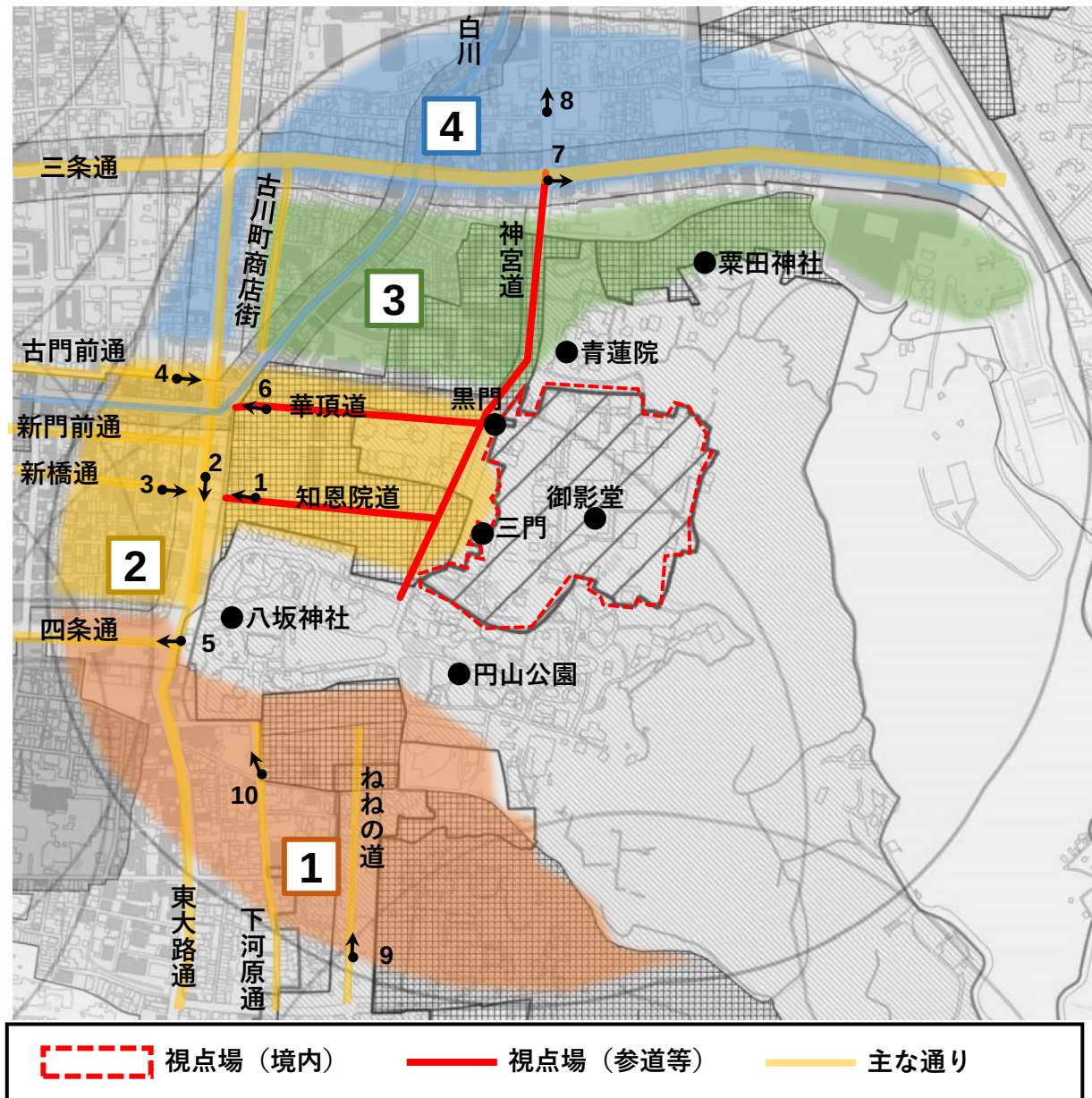
2-2 東大路新橋通から南への眺望
：東大路通沿道に商業ビルの町並みが見える。



2-3 新橋通から新門への眺望
：新橋通沿道に商業系の建築物が並ぶ。



2-4 古門前通から古門への眺望
：町家と商業系の建築物が混在している。



2-5 祇園石段下から東への眺望
：祇園商店街の町並みが見える。



2-6 華頂道から古門への眺望
：古門の先に祇園界隈の商業ビルが見える。



2-7 三条通から東への眺望
：通りの先に東山が見える。



2-8 神宮道から平安神宮への眺望
：神宮道の先に平安神宮の大鳥居が見える。



2-9 高台寺前からねねの道への眺望
：石畳の沿道に和塀や高台寺の生垣が続いている。



2-10 下河原通から八坂神社への眺望
：町家の町並みの先に八坂神社の南楼門が見える。

3 知恩院周辺の歴史的景観の特徴と建築計画への配慮事項

1 八坂神社・円山公園南側			参考写真等	
ア エリアの歴史等	・江戸時代、広く祇園と称された地域は、祇園廻り・祇園社境内・祇園村の三地区よりなっていた。 ・祇園廻りは、祇園社南楼門門前に展開する街区で下河原や八坂と称される一帯。祇園村は、西楼門から鴨川以东の一帯をいう。			
	・東大路通以西は、明治以降京都有数の花街である祇園甲部にあたり、お茶屋や料亭などの格子戸の続く家並みには風雅と格調がある。 ・八坂神社、大雲院、高台寺などの寺社建築が多く存在し、歴史的風土特別保存地区、産寧坂伝統的建造物群保存地区に指定されたエリアを含んでいる。石塀小路のように町家や料亭、旅館が建ち並び石積や擁壁が連なる通りや、下河原通のように八坂神社の参道にあたり町家が多く残る通り、ねねの道のように寺社の土塀や生垣と町家が混在している通りなど、異なる特性の通りが混在している地域である。 ・東山安井から祇園石段下にいたる東大路通沿道は、町家や看板建築、商業系ビル、マンションなどが混在しているが、歴史遺産型美観地区、15m高度地区に指定されており、落ち着いた町並みへと移行しつつある。 ・四条通は、石段下から川端通まで祇園商店街が続いており、江戸時代から続く茶屋など町家、商業系のビルが立ち並ぶ。 文化財等：西行庵主屋、西行庵茶室(皆如庵)、円山公園(名勝)		3-1 大成京細見繪圖(慶應4年(1868))  3-2 石塀小路の町並み  3-3 ねねの道から北への眺望  3-4 下河原通から八坂神社への眺望	
イ 町並みの特徴	・西は花見小路通、東は東大路通に挟まれる、末吉町通・富永町通界わいは、祇園東のお茶屋街にあたり、お茶屋建築はわずかに残る程度で多くが商業ビルに建て替わっている。 ・新橋通は、知恩院新門から三門に続く参道(知恩院道)にあたり、花見小路より東側は1970年代から1980年代に多く建てられた商業ビルが残り、花見小路より西側には、伝統的建造物群保存地区に指定された祇園新橋地区がある。 ・古門前通は、知恩院古門から黒門に続く参道(華頂道)にあたり、町並みは旧観をとどめ古美術商や陶器を扱う店舗が多い。それらの多くは趣のある和風建築物として景観に配慮された佇まいを残している。一部の京町家はゲストハウスや飲食店などに変わっている。 ・新門前通の花見小路西側には能楽・京舞の片山家が存在し、祇園縄手・新門前歴史的景観保全修景地区に指定された伝統的な京町家の町並みが残る。 ・東大路通沿道は、商業ビルが多く立ち並んでいる。		ウ 景観形成方針	
ウ 景観形成方針	歴史遺産型美観地区	風致地区	エ 求める配慮事項	
エ 求める配慮事項	由緒ある社寺建築物と京町家からなる町並み、寺院の伽藍や土塀などにより、通りごとに特性が異なる景観が融合している。	円山公園及び八坂神社一帯は、京都の代表的景勝地であり、趣のある沿道景観が形成されているため、これらの沿道景観の保全に配慮する。	深い軒を有する日本瓦ぶき等の勾配屋根を設けることや、白川側の3階以上の壁面の後退など白川への圧迫感を低減する。	

2 知恩院西側			参考写真等	
ア エリアの歴史等	・古門前通と新門前通が通じ町並みを形成している。 ・古門前通は知恩院古門より西へ縄手通に至る街路。「新改洛陽并洛外之圖(1653承応2)」に「知恩院門前」の名でこの通りがみられる。後に三門前から大和大路通に至る新道が開通するにあたり「上門前」または「古門前」とよばれ「古門前」の名が残った。 ・新門前通は東大路通より縄手通に至る街路。画廊や古美術商の店舗が多い。開通は寛文年間(1661-1673)と考えられ、江戸時代初期には古門前通の町とあわせて知恩院の門前町が完成した。			
	・西は花見小路通、東は東大路通に挟まれる、末吉町通・富永町通界わいは、祇園東のお茶屋街にあたり、お茶屋建築はわずかに残る程度で多くが商業ビルに建て替わっている。 ・新橋通は、知恩院新門から三門に続く参道(知恩院道)にあたり、花見小路より東側は1970年代から1980年代に多く建てられた商業ビルが残り、花見小路より西側には、伝統的建造物群保存地区に指定された祇園新橋地区がある。 ・古門前通は、知恩院古門から黒門に続く参道(華頂道)にあたり、町並みは旧観をとどめ古美術商や陶器を扱う店舗が多い。それらの多くは趣のある和風建築物として景観に配慮された佇まいを残している。一部の京町家はゲストハウスや飲食店などに変わっている。 ・新門前通の花見小路西側には能楽・京舞の片山家が存在し、祇園縄手・新門前歴史的景観保全修景地区に指定された伝統的な京町家の町並みが残る。 ・東大路通沿道は、商業ビルが多く立ち並んでいる。		3-5 新改洛陽并洛外之圖(1653承応2) 現「古門前通」が「上門前」と示されている。  3-6 京大絵図(貞享3(1686)) 「下ちをんいん丁」と「新門前通」が示されている。  3-7 東大路通から新橋通を西に見た町並み  3-8 東大路通から古門前通を西に見た町並み	
イ 町並みの特徴	岸辺型美観地区	歴史遺産型美観地区	旧市街地型美観地区	
ウ 景観形成方針	浅瀬のせせらぎと街路樹、一本橋、及び河川沿いの伝統的な木造建築物とが一体となった独特の情緒と風情のある岸辺景観を形成している。	由緒ある社寺建築物と京町家からなる町並み、寺院の伽藍や土塀などにより、通りごとに特性が異なる景観が融合している。	京町家を中心とした歴史的な町並みを多く残す地域である。祇園などの茶屋町や新門前の骨董屋街等、特徴的な町並みを形成している。	
エ 求める配慮事項	2階建を基本とした京町家の町並み景観との連続性を維持する。日本瓦ぶきの特定勾配の屋根とし、和風意匠を継承したデザインを採り入れる。	建築物は勾配屋根を設け、道路に面した空地には門や塀を設置するなど、京町家や社寺と調和した町並み景観を保全する。		

3 青蓮院西側

ア エリアの歴史等

・古川町商店街は、若狭街道の終着点であり知恩院・青蓮院の門前市場としても利用され、江戸から明治にかけて「東の錦」とよばれ食料品を中心に扱う店舗が集中し旅人や商人の往来で賑わった。

・地域の景観に変化をもたらしたのは、明治44年(1911)から大正初期にかけて行われた東山通(東大路通)の拡幅と京都市電の敷設、三条通の京阪電車京津線の敷設などの近代化に伴うものであった。

イ 町並みの特徴

・青蓮院、粟田神社などが位置する山際の地域は、青蓮院・知恩院特別修景地域に指定されており、和風外観の建築物や土塀、生垣、樹木などが連なる趣のある町並みが形成されている。

・白川沿いは、浅瀬のせせらぎと街路樹、河川沿いの木造建築などが一体となって岸辺の風景を形作っている。河川沿いには周辺住民によって手入れされている植栽があったり、水辺へのアクセスが可能な場所もあり、河川を身近に感じられる空間となっている。

・白川の左岸には、何本かの袋路があり、中には80m程度の深い路地も見られ、穏やかな生活感がたよう空間となっている。

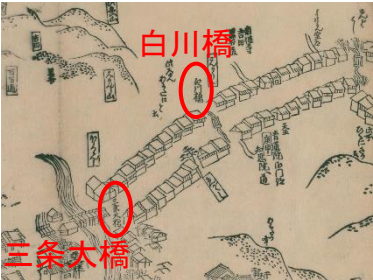
・白川の西には古川町商店街がある。アーケードのある細い通りの商店街で、かつては東の錦と言われていた。近年は一部の商店がゲストハウスなどに変わっている。

文化財等：良正院本堂、良正院表門、パビリオンコート(洋館、和館、門)ほか、青蓮院旧仮御所(史跡)

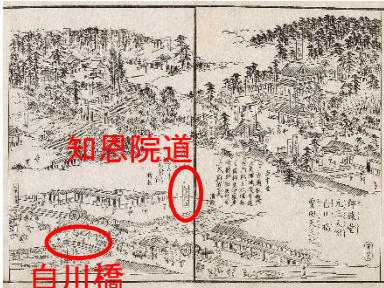
ウ 景観形成方針	岸辺型美観地区	旧市街地型美観地区	風致地区
	浅瀬のせせらぎと街路樹、一本橋、及び河川沿いの伝統的な木造建築物とが一体となった独特の情緒と風情のある岸辺景観を形成している。	京町家を中心とした歴史的な町並みを多く残す地域である。祇園などの茶屋町や新門前の骨董屋街等、特徴的な町並みを形成している。	円山公園及び八坂神社一帯は、京都の代表的景勝地であり、趣のある沿道景観が形成されているため、これらの沿道景観の保全に配慮する。

工 求める建築計画等に	深	建	この
	深い軒を有する日本瓦ぶき等の勾配屋根を設けることや、白川側の3階以上の壁面の後退など白川への圧迫感を低減する。	建築物は勾配屋根を設け、道路に面した空地には門や塀を設置するなど、京町家や社寺と調和した町並み景観を保全する。	この地域に点在する大規模建築物は景観特性上重要な要素であるから、建築や外構のデザイン、植栽の水準のなお一層の向上を図る。

参考写真等



3-9 花洛名所図会
(白川橋付近三条街道界限)
：人々の往来と物流の要所であったことがうかがえる。



3-10 東海道分間図
(粟田口付近)
：街道の町並みや南禅寺方面や知恩院方面にのびる道路が描かれている。



3-11 粟田神社周辺の町並み



3-12 古門前通から白川上流、一本橋付近の風景

4 三条通周辺

ア エリアの歴史等

・本地域は粟田口村といい、鎌倉時代以来、三条小鍛冶(粟田口派)で知られる刀工の住地であり、粟田口派の画工も居を構え江戸時代から明治にかけては粟田口焼の陶工を生むなど、村の歴史を特色づけた。

・地域の景観に変化をもたらしたのは、明治44年(1911)から大正初期にかけて行われた東山通(東大路通)の拡幅と京都市電の敷設、三条通の京阪電車京津線の敷設などの近代化に伴うものであった。

イ 町並みの特徴

・京の七口の一つ、粟田口と呼ばれた地域であり、東海道の起終点である三条大橋につらなる地域である。この地域の東西の通りから東を臨むと、東山の山並みが眺望できる。

・三条通沿道には、古い街道筋らしく伝統的な木造建築物が残っており、現在も旅館やホテルが多く立地している。

・古くから開かれた地域であり、幹線道路から外れると、京町家が軒を連ねている。並河靖之七宝記念館をはじめ、歴史的意匠建造物に指定された町家なども存在する。こうした風情ある町並みの中に、一部マンションなどが混在する。

・神宮道を北に向かうと平安神宮に至る。通りからは、平安神宮の大鳥居が見える。

・三条通を東にいくと、蹴上発電所が立地している。

・東山三条付近の東大路通は、商業系ビルが立ち並んでいる。

文化財等：旧並河靖之邸(主屋・工房・窯場)

ウ 景観形成方針	沿道型美観地区	岸辺型美観地区	旧市街地型美観地区
	三条通沿道には店舗や旅館などが連なり、旧街道の名残を現在に伝える。沿道の社寺、近代化遺産越しに東山の山並みを眺望することができる。	浅瀬のせせらぎと街路樹、一本橋及び河川沿いの伝統的な木造建築物とが一体となった独特の情緒と風情のある岸辺景観を形成している。	京町家を中心とした歴史的な町並みを多く残す地域である。祇園などの茶屋町や新門前の骨董屋街等、特徴的な町並みを形成している。

工 求める建築計画等に	沿	深	建
	沿道に面した建築物等は高さを抑え京都らしい繊細で洗練された勾配屋根を持つ和風意匠による通り景観の保全に配慮する。	深い軒を有する日本瓦ぶき等の勾配屋根を設けることや、白川側の3階以上の壁面の後退など白川への圧迫感を低減する。	建築物は勾配屋根を設け、道路に面した空地には門や塀を設置するなど、京町家や社寺と調和した町並み景観を保全する。

参考写真等



3-13 最新京都市街地図
(大正9年(1920))
：京都市電・京阪電車京津線が敷設済。京津線の軌道が三条通より北に迂回している。



3-14 三条通から東山への眺望



3-15 神宮道から平安神宮への眺望



3-16 東山三条から南への眺望

3-1 「大成京細見繪圖」国際日本文化研究センター（<http://www.nichibun.ac.jp>）
3-5 「新改洛陽并洛外之圖」国立国会図書館デジタルコレクション（<https://dl.ndl.go.jp>）
3-6 「京大絵図」国立国会図書館デジタルコレクション（<https://dl.ndl.go.jp>）
3-9 「花洛名所図会」国際日本文化研究センター（<http://www.nichibun.ac.jp>）
3-10 「東海道分間図」国際日本文化研究センター（<http://www.nichibun.ac.jp>）
3-13 「最新京都市街地圖」国際日本文化研究センター（<http://www.nichibun.ac.jp>）